



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 棚橋 祥紀 TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	24,039	23.3	952	61.8	1,060	50.4	705	74.1
27年3月期第3四半期	19,501	13.0	588	△38.6	705	△36.1	405	△19.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 467百万円 (14.7%) 27年3月期第3四半期 407百万円 (△17.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	40.14	38.96
27年3月期第3四半期	23.06	22.50

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	32,350	24,016	72.5
27年3月期	29,996	23,752	77.5

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 23,468百万円 27年3月期 23,261百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	7.00	—		
28年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	13.3	950	31.4	1,050	11.9	700	26.6	39.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	18,218,901株	27年3月期	18,218,901株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	653,557株	27年3月期	653,459株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	17,565,407株	27年3月期3Q	17,565,442株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善がみられるものの、個人消費は抑制傾向が続く景気回復は足踏み状態となっております。また、中国をはじめとする新興国経済の減速や原油価格の下落、米国の利上げの影響など、先行きについて不透明な状況も懸念されます。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、薄型テレビやBDレコーダ、カーナビ等の民生機器関連は一部に需要の回復がみられるものの、全体としては厳しい状況が続きました。スマートフォンやタブレット端末等の通信機器関連は概ね堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高240億39百万円(前年同期比23.3%増)、営業利益9億52百万円(同61.8%増)、経常利益10億60百万円(同50.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億5百万円(同74.1%増)となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

## 〔設計開発ソリューション事業〕

設計開発ソリューション事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規開拓を行うなど積極的な営業活動に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用(EDA)ソフトウェアは、長期契約の更新や既存顧客の需要増により概ね好調に推移いたしました。自社製CPUボード等の組込み製品は、防衛、インフラ向けの受注増等により好調に推移いたしました。また、ガイオ・テクノロジー株式会社の組込みソフト検証ツール及びエンジニアリングサービスは、引き続き堅調に推移いたしました。一方、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは、顧客開発スケジュールの遅れに伴い稼働率が一時的に落ち込んだ影響などにより収益性がやや低下いたしました。アイティアアクセス株式会社は、受託開発は振るわなかったものの、組込みソフトウェアのライセンス販売が売上に貢献いたしました。

その結果、当事業の売上高は131億4百万円(前年同期比8.9%増)、セグメント利益は9億24百万円(同31.1%増)となりました。

## 〔プロダクトソリューション事業〕

プロダクトソリューション事業は、半導体メモリー市場やデジタル家電、OA・FA市場の既存顧客を中心に当社グループのエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力してまいりました。自社製テストシステムは、引き続き海外向け出荷が一服しているものの、国内向けは従来のメモリー向けの他、イメージセンサー向けテストの出荷が加わり好調に推移いたしました。ハードディスク部門・デバイス部門においては、OA市場、テレビ市場における受注回復等により売上は増加いたしました。また、STAr Technologies, Inc.は信頼性試験装置が売上に寄与いたしました。

その結果、当事業の売上高は109億34百万円(同46.5%増)、セグメント利益は3億91百万円(同86.5%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、323億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億54百万円増加しております。これは主に、現金及び預金が減少したものの受取手形及び売掛金や投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

一方、負債は83億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億90百万円増加しております。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したものの短期借入金が増加したことなどによるものであります。

純資産は240億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億63百万円増加しております。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したためであります。この結果、自己資本比率は72.5%となり、前連結会計年度末に比べ5.0ポイント低下しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めておりましたギガヘルツテクノロジー株式会社は、平成27年12月1日付で、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この変更による、当第3四半期累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,553,473	3,423,939
受取手形及び売掛金	7,718,270	9,881,780
商品及び製品	2,311,566	2,446,096
その他	2,554,730	2,547,608
貸倒引当金	△13,548	△28,082
流動資産合計	16,124,493	18,271,342
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,931,014	7,963,752
減価償却累計額	△4,016,344	△4,099,873
建物及び構築物（純額）	3,914,669	3,863,879
土地	5,731,631	5,705,631
その他	1,658,082	1,604,726
減価償却累計額	△1,148,156	△1,104,108
その他（純額）	509,925	500,618
有形固定資産合計	10,156,225	10,070,129
無形固定資産		
のれん	1,387,135	1,374,401
その他	344,891	318,173
無形固定資産合計	1,732,026	1,692,574
投資その他の資産		
投資有価証券	745,276	1,037,236
その他	1,244,068	1,285,068
貸倒引当金	△5,724	△5,711
投資その他の資産合計	1,983,620	2,316,594
固定資産合計	13,871,873	14,079,298
資産合計	29,996,366	32,350,640

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,080,302	1,572,781
短期借入金	—	2,050,000
未払法人税等	106,914	368,949
賞与引当金	128,651	233,559
役員賞与引当金	—	19,129
その他	3,349,921	3,495,614
流動負債合計	5,665,789	7,740,034
固定負債		
役員退職慰労引当金	89,114	76,776
退職給付に係る負債	157,559	164,541
その他	331,122	353,071
固定負債合計	577,797	594,389
負債合計	6,243,586	8,334,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,323,460	7,324,058
利益剰余金	5,324,689	5,783,869
自己株式	△258,521	△258,574
株主資本合計	22,906,787	23,366,513
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	119,006	108,147
繰延ヘッジ損益	△14,497	△6,127
為替換算調整勘定	164,385	△64,659
退職給付に係る調整累計額	86,074	64,695
その他の包括利益累計額合計	354,968	102,056
新株予約権	231,714	269,514
非支配株主持分	259,309	278,131
純資産合計	23,752,780	24,016,215
負債純資産合計	29,996,366	32,350,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	19,501,032	24,039,594
売上原価	14,965,352	17,955,436
売上総利益	4,535,680	6,084,157
販売費及び一般管理費	3,946,721	5,131,322
営業利益	588,958	952,835
営業外収益		
不動産賃貸料	326,633	322,913
その他	66,899	111,820
営業外収益合計	393,532	434,733
営業外費用		
不動産賃貸費用	248,724	257,753
その他	28,377	68,995
営業外費用合計	277,102	326,748
経常利益	705,389	1,060,820
特別利益		
段階取得に係る差益	—	44,492
その他	7,928	7,116
特別利益合計	7,928	51,609
特別損失		
段階取得に係る差損	87,463	—
投資有価証券売却損	466	421
特別損失合計	87,929	421
税金等調整前四半期純利益	625,387	1,112,008
法人税等	232,725	384,904
四半期純利益	392,661	727,103
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12,344	22,007
親会社株主に帰属する四半期純利益	405,005	705,095



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	392,661	727,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,187	△10,858
繰延ヘッジ損益	△28,686	8,370
為替換算調整勘定	53,422	△235,552
退職給付に係る調整額	△15,737	△21,378
その他の包括利益合計	15,185	△259,419
四半期包括利益	407,847	467,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	420,191	452,184
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,344	15,499

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,034,896	7,466,135	19,501,032	—	19,501,032
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,688	315	19,003	△19,003	—
計	12,053,584	7,466,450	19,520,035	△19,003	19,501,032
セグメント利益	705,188	210,039	915,227	△326,269	588,958

(注) 1. セグメント利益の調整額△326,269千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△326,846千円及び棚卸資産の調整額577千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	設計開発 ソリューション 事業	プロダクト ソリューション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,104,747	10,934,847	24,039,594	—	24,039,594
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,626	895	59,522	△59,522	—
計	13,163,374	10,935,743	24,099,117	△59,522	24,039,594
セグメント利益	924,354	391,734	1,316,089	△363,254	952,835

(注) 1. セグメント利益の調整額△363,254千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△357,929千円及び棚卸資産の調整額△5,324千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。